



白熱した交流試合の様子（縦じまのユニフォームが葛巻町）

## 北海道新ひだか町と交流試合 サッカーでさらなる友情育む

葛巻町と友好市町である北海道新ひだか町から高静サッカースポーツ少年団の選手ら約40人が来町し、交流サッカー大会が8月9日と10日の2日間、総合運動公園で行われました。

晴天に恵まれた大会初日は、近隣市町から出場したチームを合わせて全6チームが参加。普段対戦することができない機会とあって、選手たちは試合時間15分の中で、声をかけ合うなど連携を見せながら熱い試合を繰り広げ、爽やかな汗を流し、サッカーでの交流を楽しみました。



基本フォームを練習する参加児童と熱心に指導する講師の千葉さん（円内）

## 小・中学生水泳教室 水と触れ合い技術向上

小・中学生水泳教室（町スポーツ協会スポーツクラブ主催）が7月23日から8月8日の全6回、葛巻小学校屋内プールで開催され、町内の小学生16人が参加しました。

第1回目の教室では講師の千葉準也さん（盛岡市）が「まずは水のことを知しましょう」と水と触れ合いながら、基本となるクロールの泳ぎ方を指導。参加した児童は千葉さんのアドバイスを聞き、一つ一つの動きを意識しながら泳ぎ、技術向上を目指していました。

## 産直連携「あさいち」開催 新鮮な野菜・花きが並ぶ

8月11日、JRバス葛巻駅構内でくずまき産直連絡協議会が主催する産直連携「あさいち」が開催され、新鮮な野菜や花きなどが販売されました。時折雨がぱらつく時間もありましたが、来場者は出店者との会話を楽しみながら、夢中になって品定めをしていました。

出店者の波紫春美さん（車門）は「1回目から参加している。出店者は減ってきているが、直接お客さんと会話をしながら商品を売るの楽しい」とあさいちの魅力を話しました。



会話を楽しみながら花を選ぶ地元住民

## 第78回県北野球大会 野球を通じて親睦深める

総合運動公園野球場で第78回県北野球大会が開催され、県北地域5市町から約100人の選手が参加しました。どの試合も選手たちの掛け声が響き、会場は活気に溢れていました。

葛巻町チームは町内在住者と共に、町内で働く人や町出身の大学生も参加。この大会のために帰省した宮城県在住の恵津森大貴さん（五日市地区出身）は「少年野球時代から知っている人たちと一緒に野球ができて楽しい時間だった」と野球を通じた交流に笑顔を見せました。



仲間とハイタッチを交わす葛巻町の選手



ちょうちんの下で盆踊りを楽しむ参加者たち

## くずまき高原牧場盆踊り大会 草原に太鼓の音と笑顔の輪

くずまき高原牧場盆踊り大会が8月23日、同所で開催され、町内外から約300人が参加しました。参加者は家族や仲間と共に、浴衣や仮装など思い思いの衣装を身に付け、草原に響く太鼓の音に合わせて盆踊りを楽しんでいました。

締めくくりには抽選会が行われ、町70周年にふさわしく抽選番号70番に1等賞が当選。当選した山口絹代さん（新町）は「夏の最後の楽しみで友達と来た。70番は縁起が良いと思ったが、まさか」と思わず笑みがこぼれていました。



牛乳やチラシを配りながら元気に安全運転を呼びかける児童

## 夏場の過労運転などに注意 安全運転を元気に呼びかけ

町交通安全対策協議会（鈴木重男会長）主催の交通事故防止めざまし作戦が8月8日、道の駅くずまき高原駐車場で行われ、小田防犯少年隊の児童など関係者約30人が参加しました。

参加者は車での来客者に対し、安全運転を呼びかけながら牛乳や交通安全啓発グッズを配布。子どもたちの元気な呼びかけに来客者は笑顔を見せました。岩手警察署の久保慶浩交通課長は「呼びかけは事故抑止に効果的。今後も活動を続けてほしい」と話し、活動を締めくくりました。